

令和5年4月25日

石川県教育工学研究会

常任理事・理事の皆様

石川県教育工学研究会

事務局長 福田 晃

令和4年度の理事会開催について（依頼）

日頃よりお世話になっております。ありがとうございます。

さて、当会の令和4年度の理事会の開催が遅れましてたいへん変申し訳ありません。

つきましては、令和4年度の理事会は昨年度のように書面による開催といたします。提案資料をお送りいたしますので、皆様のご理解とご協力を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご回答（承認または不承認）は、本会ホームページ <http://i-kougaku.undo.jp/>）、または下記のQRコードからアクセスいただき、記載のアンケートフォームでお送りくださいますようお願いいたします。なお、この提案資料はホームページ上にも掲載しています。

ご多用の中、大変恐縮ではありますが、令和5年5月14日（日）までに、ご回答をお願いいたします。



当会ホームページ

<http://i-kougaku.undo.jp/>

ご不明な点がございましたら、事務局 森本小学校 飯田 淳一 まで

E-mail : iida@nsknet.or.jp Tel: 090-2099-3473

令和5年度総会および第1回学習会についてご案内

令和5年5月27日（土）10：00より星稜大学にて開催いたします。

10：00～ 総会

11：00～ 第1回学習会

講演：「諸外国の教育事情(仮)」

講師：金沢星稜大学 清水和久先生

令和4年度 石川県教育工学研究会 理事会

議 案

1. 令和4年度事業報告および収支決算
2. 令和5年度役員の推薦について
3. 令和5年度事業計画（案） および収支予算（案）

回答フォームは 当会ホームページ

<http://i-kougaku.undo.jp/> からお願いします。



事務局より

1. 令和4年度事業報告および収支決算

(1) 令和4年度事業報告について **資料1** 参照

①総会・学習会

今年度の総会はオンラインと対面のハイブリッドで5月28日（土）に金沢大学にて開催しました。

第1回学習会

【テーマ】「いっしょに始めませんか ～この指とまれプロジェクトの紹介～」

【日時】令和4年5月28日（土） 10:45～12:00

【内容】

- ・金沢未来の町創造館コラボレーション
 - ・ipad 活用術
 - ・算数シミュレーション教材の作成
 - ・テディベアプロジェクト
- 4つのプロジェクトについて紹介がありました。

第2回学習会

【テーマ】「学校の外の取り組みから探究学習を見つめ直そう vol.1
～満足のいくカクテルが完成されるまでの探究プロセス～」 講師：竹下哲広氏

【日時】令和4年8月23日（火） 10:00～12:00

【内容】

A_RESTAURANT のバーマンである竹下さんをゲストとして迎え、ドリンクづくりにかける思いとその試行錯誤のプロセスを知る中で、探究学習のあり方について考えました。

第3回学習会

【テーマ】「VIVISTOP金沢の活動から探究の本質を読み解く」

講師：山森文生氏（VIVISTOP金沢）

【日時】令和4年12月4日（日） 10:00～11:30

【内容】

年間をかけた「究極のカレーをつくろうプロジェクト」の学習展示物から、探究の本質にせまる要素を考えました。

第4回学習会

- 【テーマ】 「VIVIWARWE をテーマに探究的な学びを支援するコンテンツのあり方」
講師：小寺孝明氏他（VIVITA JAPAN）
- 【日時】 令和5年2月21日（火） 19：00～20：30
- 【内容】
VIVIWARWE（プログラミング）を体験しながら探究的な学びについて考えました。

第5回学習会

- 【テーマ】 「学びの STEAM 化に向けて」 講師：反田任氏（同志社中学校・高等学校教諭）
- 【日時】 令和5年3月5日（日） 9：00～12：00
- 【内容】
同志社中学校・高等学校での STEAM 教育についての数々の取り組みから STEAM 教育の可能性を学びました。

②年次大会・研究会での発表等

- ・年次大会は3月5日（日） 金沢未来のまち創造館で行いました。
- ・北陸三県大会富山大会は2名の発表がありました。
- ・「研究紀要」は印刷をせず、pdfデータでWEBからダウンロードするようにしました。
- ・第48回全日本教育工学研究協議会全国大会春日野大会での発表者はありません。

③共催関連

○金沢大学授業力向上ゼミとの連携

- 【テーマ】 「プロジェクト型学習初めの一步」
講師：岩崎有朋（鳥取県教育センターGIGA スクール推進課係長）
- 【日時】 令和5年3月1日（水） 18：30～20：30
- 【場所】 金沢大学教育実践支援センター

(2) 収支決算について 資料2 資料3参照

- ・資料2・資料3は、県への報告として提出したものです。
- ・県からの補助金は、160000円です。会報を年1回とし、研究紀要をpdfで発行したため、320000円から160000円に減額申請をしました。
- ・会費納入状況は芳しくありません。協賛金もほぼ見込めないため、厳しい状況が続きます。
- ・北國銀行の「北國ウェブ・アクセス」の設定をしました。WEB上で銀行口座の管理ができるようにしました。 (<https://www.hokkokubank.co.jp/customer/webaccess/>)

2. 役員の推薦について 資料4 参照

(1) 令和5年度会長について

- ・金沢星稜大学の清水和久先生にお願いします。
- ※5月総会にて選出…会則第9条（1）による

(2) 令和5年度役員の推薦について

- ・お気づきの点をご指摘ください。
- ・事務局長を飯田先生（森本小）、補佐を下倉健先生（田上小）に推薦します
- ・事務局次長をまとめて事務局としました。
- ・令和5年度も石川県視聴覚教育研究協議会から濱田先生（額小）が副会長です。
- ・理事および役員に委嘱状を発行し、それぞれの役割を意識してもらいます。

3. 令和5年度事業計画（案）および収支予算（案）

（1）令和5年度事業計画案について 資料5 参照

①総会、理事会について

- ・令和5年度総会は5月27日（土）予定しています。
- ・理事会は3月年次大会（3月3日）の昼休憩中に短時間で行います。

②事務局の仕事内容について

- ・本会の事務局は、金沢大学の組織改編により、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属教育実践支援センターに置くことができなくなったため、会長の研究室に置くことにします。
名称：金沢星稜大学清水和久研究室 →会則の変更
- ・年間の行事を見通し、事務局各次長の仕事内容を見直しつつ共有するため役員名簿の記載は「事務局」とします。

③主な研究活動について

コロナ禍で人が集まる活動が十分にできなかったことやオンラインでつながる環境が一般的になってきたことを踏まえつつ、GIGA スクール構想や働き方改革が叫ばれる中での潜在的なニーズを掘り起こすことで、入会者増を目指しながら会員の研修を深めます。

- ・グループ研究に力を入れ、会員の自発的な活動を支援していきます。
（グループ研究費の補助、アドバイザーの派遣、グループ同士の情報共有など）
- ・ニーズに合わせたテーマを設定し、学習会（共催含む）を計画します。
- ・第1回学習会は総会後に清水先生の講演を行います。
講演テーマ「諸外国の教育事情(仮)」
- ・北陸三県教育工学研究大会（3月3日）は石川での開催です。

④組織拡大・強化の取り組み、学会等について

- ・引き続き、石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、デジタル表現研究会、金沢大学授業力向上ゼミ、企業との連携も視野に入れ、会員の拡大を図ります。
- ・イベント告知用メーリングリスト、およびフェイスブックを引き続き活用し、より一層の充実を図ります。
- ・グループ活動の状況がわかるようにフェイスブックを活用して募集や告知、報告を行います。
- ・ホームページを活用し情報を共有しながら、より透明性のある会の運営を図ります。
- ・事務局メーリングリストやChatを活用して情報共有を図ります。
- ・第49回全日本教育工学研究協議会全国大会（青森大会）は10月27日（金）28日（土）の日程で開催されます。

（2）令和5年度予算について 資料6 資料7 参照

- ・図書費は「グループ活動支援」として活動費を設定しています。
- ・会費は、年度の途中入会は無料、次の年度から4000円を納めてもらいます。

令和4年度 石川県教育工学研究会 事業報告

事業	期日	概要
1 総会 理事会	5月28日 令和5年 3月 4月	令和4年度総会 Zoomで開催 ・令和3年度事業報告・決算報告 ・令和4年度事業計画・予算案 令和4年度理事会（書面） ・令和4年度事業報告・決算報告 ・令和5年度事業計画・予算案 ・令和5年度役員案
2 研究事業	5月28日 8月23日 10月28日29日 12月4日 令和5年 2月19日 2月21日 3月1日 3月5日	○第1回学習会 Zoomで開催 「グループ活動活性化 この指とまれプロジェクトの紹介」 ○第2回学習会 於 金沢未来のまち創造館 「学校の外の取り組みから探究学習を見つめ直そう vol.1 ～満足のいくカクテルが完成されるまでの探究プロセス～」 講師：竹下哲広（A_RESTAURANT） ○第48回全日本教育工学研究協議会全国大会春日井大会 ○第3回学習会 於 金沢未来のまち創造館 「VIVISTOP金沢の活動から探究の本質を読み解く」 講師：山森文生（VIVISTOP金沢） ○北陸三県教育工学研究会富山大会 於 富山大学 ○第4回学習会 於 金沢未来のまち創造館 「VIVIWARWEをテーマに探究的な学びを支援するコンテンツの あり方を検討する」 講師：小寺孝明（VIVITA JAPAN）他 ○金沢大学授業力向上ゼミ 於 金沢大学 「プロジェクト型学習初めの一步」 講師：岩崎有朋（鳥取県教育センターGIGAスクール推進課係長） ○令和4年度石川県教育工学研究大会 於 金沢未来のまち創造館 講演「学びのSTEAM化に向けて」 講師：反田 任（同志社中学校・高等学校教諭）
3 刊行事業	4月、6月、8月、 10月、12月、3月 3月 3月	○研究会ニュース 年間を通じ当会Webサイト http://i-kougaku.undo.jp/ にてニュースを 掲載しています。 ○会報(103号、B5版、20頁、100部) ○第47号研究紀要(A4版pdf)

令和4年度 収支計算書

資料2

(1) 収入の部

科目	予算額	決算額
会員負担金	220,000	220,000
県補助金	160,000	160,000
賛助会費	0	0
雑入	0	0
合計	380,000	380,000

(2) 支出の部

科目		予算額	決算額
補助対象経費	賃金	20,000	30,000
	謝金	30,000	60,000
	旅費	50,000	60,000
	消耗品費	5,000	5,000
	印刷費	90,000	90,000
	図書費	120,000	90,000
	通信運搬費	30,000	30,000
	借上料	5,000	5,000
	小計	350,000	370,000
補助対象外経費		30,000	10,000
次年度繰越金		0	0
計		380,000	380,000

事業内容及び経費の配分（補助対象）

科 目		1 総会・ 理事会	2 研究事業	3 刊行事業
賃 金	30,000			会報 30,000
謝 金	60,000		講演会講師謝金 20,000 学習会講師謝金 40,000	
旅 費	60,000		講演会講師 20,000 学習会講師 20,000 富山大会 20,000	
消耗品費	5,000		事務消耗品 2,000	事務消耗品 3,000
印 刷 費	90,000			会報 90,000
図 書 費	90,000		研究奨励費（グループ） 90,000	
通信運搬費	30,000		郵便葉書 10,000 WEB維持費 6,000	会報郵送 14,000
借 上 料	0			
計	370,000	0	194,000	136,000

【会 長】 清水 和久 (金沢星稜大)

【副会長】

加藤 隆弘 (金沢大)

濱田 貴宏 (石川県小中学校視聴覚教育研究協議会会長・額小)

【常任理事】

中野 淳子 (野々市小) 西田 素子 (小坂小) 嶋 耕二 (金沢錦丘中)

長田 博美 (粟崎小) 平瀬 方識 (羽松高) 正來 洋 (河内小)

西野 聡子 (金石町小)

【理 事】

布川かほる (中能登町教育事務所)

【事務局長】 飯田 淳一 (森本小) [補] 下倉 健 (田上小)

【事務局】 福田 晃 (金沢大附属コラボレーション推進室)

荒木弥生子 (米丸小) 山口 眞希 (放送大学大学院)

細川都司恵 (金大附属小) 海道 朋美 (関西大学)

【研究委員】 (○：グループリーダー)

武田 理恵 (小坂小) 北濱 康裕 (片山津中) 崎山 寛之 (桜丘高)

新出 真奎 (押野小) 櫻井 元太 (小立野小) 竹村 宗矩 (北陸学院小)

羽場 史江 (森本小) 松本 聖菜 (苗代小) 久米田年雄 (菅原小)

岡本 光司 (金大附属小) 上原 絵里 (十一屋小) 竹田 円香 (押野小)

【会 計】 飯田 淳一 (森本小) 田口 優 (杜の里小)

【会計監査】 林 道雄 (金沢向陽高) 青江 弘義 (内灘町教育委員会)

【日本教育工学協会役員】 (理事) 清水 和久 (名誉理事) 吉田 貞介 村井万寿夫

【名誉会員】

紙谷 威 山本 昌猷 清丸 亮一 谷内 敏夫 藤井 昭久 押野 市男

南 千之 内田 正明 三田村英明 西田 政人 宇都宮 博 菖蒲田英夫

畠 一馬 荒巻 雅博

【顧 問】 吉田 貞介 村井万寿夫

【指導委員】

太田 雅夫 小笠原喜康 黒上 晴夫 黒田 卓 堀田 龍也 山西 潤一

吉崎 静夫 赤堀 侃司 鈴木 克明 清水 康敬 堀口 秀嗣 中川 一史

稲垣 忠 小林 祐紀 佐藤 幸江

令和5年度 石川県教育工学研究会 事業計画

事業	期 日	概 要
1 総会 理事会	5月27日(土) 令和6年 3月3日(日)	令和5年度総会(於:金沢星稜大学) ・令和4年度事業報告・決算報告 ・令和5年度事業計画・予算案 令和5年度理事会(於:金沢星稜大学) ・令和5年度事業報告・決算中間報告 ・令和6年度事業計画・予算案 ・令和6年度役員案
2 研究事業	4月21日(金) 5月27日(土) 7月 8月上旬 8月 10月上旬 10月27日(金) 28日(土) 12月 令和6年 3月3日(日)	○事務局会 ○第1回学習会 ○論文検討会 ○夏の研究会(デジタル表現研究会と共催予定) ○論文検討会 ○第2回学習会 ○第49回全日本教育工学研究協議会全国大会青森大会 ○冬の研究会(金沢大学授業力向上ゼミと共催予定) ○北陸三県教育工学研究会石川大会 ○令和5年度石川県教育工学研究大会
3 刊行事業	4月、6月、8月、10月、 12月、3月 7月、3月 3月	○研究会ニュース 年間を通じ当会Webサイト http://i-kougaku.undo.jp/ にて ニュースを掲載しています。 ○会報(104号、B5版、24頁、150部) ○第48号研究紀要(pdfにて配付)

令和5年度 石川県教育工学会予算(案)

(1) 取 入

	金 額	摘 要
会 員 負 担 金	220,000円	会費@4,000×55人
県 補 助 金	300,000円	
賛 助 会 費	80,000円	会費@10,000×8社
雑 入	20,000円	一日会員@1000×20人
計	620,000円	

(2) 支 出

	補助対象経費	補助対象外経費	計
賃 金	20,000		20,000
謝 金	80,000		80,000
旅 費	160,000		160,000
消耗品費	5,000		5,000
印 刷 費	100,000		100,000
図 書 費	180,000		180,000
事務連絡費	0		0
通信運搬費	45,000		45,000
借 上 料	10,000		10,000
組織加盟金		10,000	10,000
諸 会 合 費		10,000	10,000
計	(b) 600,000円	(c) 20,000円	(b)+(c)=(a) 620,000円

令和 5 年度 事業内容及び経費の配分 (補助対象) (案)

科目名		1 総会・理事会	2 研究事業	3 刊行事業
賃 金	20,000			20,000
謝 金	80,000	講演会講師謝金 20,000	学習会講師謝金 20,000×3人	
旅 費	160,000	講演会講師旅費 20,000	学習会講師旅費 20,000 全国大会発表者・理事派遣 30,000×4人 120,000	
消耗品費	5,000		コピー代・資料代 2,000	事務用品 3,000
印刷費	100,000			会報 100,000
図書費	180,000		学習グループ研究奨励費 45,000×4グループ	
事務連絡費	0			
通信運搬費	45,000		郵便葉書 14,000 WEB維持費 6,000	会報郵送 25,000
借上料	10,000		会場費 10,000	
計	600,000	40,000	412,000	148,000

石川県教育工学研究会会則

第1条 本会は、石川県教育工学研究会と称する。

第2条 本会の事務局は金沢大学人間社会学域学校教育学類附属教育実践支援センターにおく。

〔目的〕

第3条 本会は石川県の教育の振興をはかるために、新しい時代に即応した教育方法・技術の研究開発ならびに情報の交換を行うことを目的とする。

〔事業〕

第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 教育工学研究大会等の開催
- (2) 研究会・講習会・講演会等の開催
- (3) 教育メディアの開発・利用に関する研究
- (4) 教育システムに関する開発および研究
- (5) 授業改善に関する研究および教材開発
- (6) 教育工学に関する共同研究の助成
- (7) 国内並びに外国との教育工学に関する情報交換
- (8) 研究紀要・機関誌・図書等の発刊
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

第5条 本会の目的および事業に賛同し、協力するものをもって会員とし、次のように区別する。

- (1) 一般会員 (2) 名誉会員 (3) 賛助会員
- (4) 学生会員

第6条 本会に顧問および指導委員をおくことができる。

〔支部〕

第7条 本会の事業を円滑にするため支部をおくことができる。

〔役員〕

第8条 本会に次の役員をおく。

- | | | | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| (1) 会長 | 1名 | (7) 研究部長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 若干名 | (8) 研究副部長 | 2名 |
| (3) 常任理事 | 若干名 | (9) 研究委員 | 若干名 |
| (4) 理事 | 若干名 | (10) 会計 | 2名 |
| (5) 事務局長 | 1名 | (11) 会計監査 | 2名 |
| (6) 事務局次長 | 3名 | | |

〔役員を選出〕

第9条 役員を選出は次のようにする。

- (1) 会長は総会において選出する。
- (2) 副会長・常任理事・理事・会計は、会長が委嘱する。
- (3) 事務局長および事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員、運営委員は、理事会において推薦し、会長が委嘱する。
- (4) 会計監査は、会長が委嘱する。

〔役員の仕事〕

第10条 役員の仕事は次のように定める。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- (2) 副会長は会長を補佐する。

- (3) 事務局長は本会の事務を統括する。

- (4) 事務局次長は事務局長を補佐し、本会の運営に関する企画・立案にあたる。

- (5) 常任理事・理事は、本会の運営についての重要事項を審議する。

- (6) 研究部長・研究副部長・研究委員は、本会の事業を推進する。

- (7) 会計は本会の会計の処理にあたる。

- (8) 会計監査は本会の会計経理の監査にあたる。

〔役員の仕事〕

第11条 役員の仕事は1年とする。ただし再任をさまたげない。

〔理事会〕

第12条 理事会は必要に応じて会長が召集する。

〔事務局〕

第13条 事務局は、事務局長、事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員をもって構成し、必要に応じて事務局会をもつ。

〔総会〕

第14条 総会は年に1回開催し、会長がこれを召集し、次の事項を審議、承認する。

- (1) 会長の選出
- (2) 予算・決算に関する事項
- (3) 事業計画ならびに報告
- (4) 会則の改正
- (5) その他必要事項

〔会計〕

第15条 本会の会計は会費、賛助会費、補助金、寄付金その他をもってあてる。

〔監査〕

第16条 本会の会計経理は会計監査による監査を受けなければならない。

〔会計年度〕

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

〔名誉会員〕

第18条 名誉会員は次のようにする。

- (1) 名誉会員は、本会の貢献者を理事会で推薦し、総会で承認をとるものとする。
- (2) 名誉会員は終身制として理事会に進言できる。

〔細則〕

第19条 本会則の実施に必要な細則は理事会において定める。

〔付則〕

昭和45年6月21日会則施行

昭和56年5月24日改訂

昭和59年5月20日改訂

平成12年5月28日改訂

平成15年5月25日改訂

平成24年6月2日改訂

平成29年5月28日改訂